



骨粗鬆症便り Vol.16

骨密度検査ってどんなもの？

骨密度検査には主に **3種類**あります

それぞれの検査の特徴を紹介していきます！

1つ目は **QUS法**

超音波装置を用いて踵骨や脛骨の測定をします

短時間で測定可能で、X線を用いないため、主に検診や妊婦さんに使われています

2つ目は **MD法**

両手とアルミニウム板を同時にレントゲン撮影し、濃度比較する事で測定します

被曝量が少なく、短時間で測定できます



※どちらの方法も簡易検査のため精度が低く診断には至りません

3つ目は **DXA法**

当院では

米国HOLOGIC社製

骨密度装置 **Horizon C**

を採用しています！



腰椎や大腿骨に2種類の異なるX線を照射して
測定を行います

骨粗鬆症の診断や治療効果の評価が可能です

検査時間が5～10分程かかりますが、再現性や

精度も高く、被曝量も胸部レントゲンの**1/5程度**

と極めて少なく済みます

まずは骨粗鬆症外来へご相談ください！！！！

不明な点などございましたら近くの医療スタッフへ
お気軽にお声がけください。



社会医療法人美杉会
男山病院 整形外科

八幡市男山泉19

☎075-983-0001 (代表)

<http://misugikai.jp/otokoyama/>